

令和6年度 釧路市地区の研究活動

研修部長 釧路市立鶴野小学校
校長 土 居 慎 也

1 はじめに

釧路市小中学校校長会は、小学校、中学校、義務教育学校を合わせ41名の会員で構成する。釧路市教育推進基本計画・教育行政方針に基づき、次の基本方針の下、校種別研修会と小・中学校が一体となった合同研修会(年4回)、冬に行う釧路市学校経営研究協議会(年1回)、後継者育成研修会の三つを主軸に研修活動を進めている。特に今年度は、後継者の育成に傾注して活動を推進する。



▶教頭の職能向上研修

2 研究計画

基本主題は、①教育改革が多面的に進行する中、時代に対応し、それを実践へと結び付ける姿勢を示すこと、②全連小・全日中・道小・道中との関連をもたせつつ、釧路市の独自性を大切にすること、③「経営研究」という視点を明確にすることの3点を基本に据えて設定している。そして、研究分野を、ア：「学校経営」、イ：「教育課程」、ウ：「道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育」、エ：「現職教育」の四つで構成している。

(1) 基本主題

「未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創り出す子供の育成を目指す学校経営の実現」
～道東の拠点、釧路市の特性を生かした学校教育の創造～

(2) 研究の視点

- ① 新しい学校づくりを目指す学校・家庭・地域の連携と校長の指導性
- ② 生きる力を育み、創意ある教育課程の編成・実施と校長の指導性

(3) 研究分野・主題

- ① 学校経営分野(研究主題1)
「時代に対応し、信頼と連携を基盤とした創意と活力に満ちた開かれた学校経営の実現」
- ② 教育課程分野(研究主題2)
「豊かな心や知恵をはぐくむ方略と評価が適切に位置付けられた教育課程の編成・実施」
- ③ 道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育分野(研究主題3)
「命を大切にし、自立心や他を思いやる心をはぐくみ、目的をもって生きることの必要性を実感する道德教育・生徒指導・進路指導・健康安全教育の実践」
- ④ 現職教育分野(研究主題4)
「時代の要請に応え、専門性を高め、指導力向上を図る現職教育の充実」

(4) 研究推進・事業計画

- ① 研修部年間計画の作成
- ② 第68回釧路市学校経営研究協議会の開催
- ③ 校種別研修会の実施
- ④ 小中合同研修会の実施
- ⑤ 道小・道中・全連小・全日中大会開催についての情報提供及び参加企画渉外
- ⑥ 研修に関する調査研究と資料提供

- ⑦ 研修担当者の研修会の実施・研修委員会の計画と実施
- ⑧ 釧路市で開催される全国・全道規模の研究会への協力等

3 研究活動の概要

- (1) 全連小各種委員会調査への協力
- (2) 第 68 回釧路市学校経営研究協議会
 - 開催日 令和 7 年 1 月 8 日(水)
 - 場 所 釧路市生涯学習センターまなぼっと幣舞
 - 主 催 釧路市小中学校校長会・釧路市教育委員会
 - 参加者 44 名(助言：釧路教育局・釧路市教育委員会 参加：小中・義務教育学校長)
 - 提 言 3 分科会(小中合同分科会 1、小中合同分科会 2、小学校分科会)各分科会 2 名、計 6 名による研究提言
 - 講 演 講師 釧路市教育委員会 外国語教育アドバイザー 平木 裕 様
- (3) 校種別研修会の開催

新しい時代を展望する創意ある学校経営や今日的な教育課題に主体的に対応する学校経営並びに当面する学校経営上の課題等を協議することを通して校長としての指導力を磨くことに資するものとする。(小学校年 4 回、中学校年 3 回の実施)
- (4) 小中合同研修会の開催(年 4 回 小中校長会時に実施)
 - 第 1 回(5 月) 特別委員会担当 ～ 今後の P T A の在り方、組織、活動について
 - 第 2 回(9 月) 研修部担当 ～ 「リーダー育成」の現状と課題
 - 第 3 回(11 月) 経営部担当 ～ 校長の戦略
 - 第 4 回(1 月) 特別委員会担当 ～ 不登校対策対応
- (5) 各種研究大会への参加及び報告
 - 道小空知・岩見沢大会…14 名参加(1 名提言発表 第 13 分科会：「社会との連携・協働」)
 - 全連小徳島大会…3 名参加
 - 道中十勝・帯広大会…12 名参加
 - 全日中岩手大会…2 名参加
- (6) 後継者育成研修

研修部では、未来の管理職育成に向けて、ミドルリーダー世代を対象に、今日的な教育課題等についての講話や協議等の研修会を開催した。昨年度までの状況を振り返り、今年度から教頭会への負担を軽減して実施する。また、開催する両研修で使用した資料を校長間で共有を図るように研修部から発信する。

 - ① 木曜会 5 月：会員候補者推薦の依頼 ⇒ 6 月：学習会開始
 - ② 職能研修(教頭会主催) 5 月：講師依頼 ⇒ 5 月中から開始

※講師間の調整を図り、研修内容の重複を避けるよう努める。

※9 月以降で開催する面接に係る研修では、①②を部分的に抱き合わせにするなどの工夫をして運営する。

4 おわりに

研修部では、管理職希望者の減少傾向を踏まえ、これまでの職能研修等の在り方を見直した。そこで、今年度から新たに「後継者育成プロジェクトチーム」を構成し、主に職能研修を対象に 3 段階(①意識醸成 ②論文作成 ③面接対応)に分けて構造化を図った。意識醸成段階では、自ら職責を担う意識や職能研修に臨む姿勢などの醸成を、論文作成段階では、実際に文字に書き表すことで教育課題の認識を深め、今日求められている教育者としての資質や能力を向上させることに傾注した。また、面接対応段階では、自身の教育理念を明確に言語化できるよう、一人一人へのアドバイスを具体的に行い、個々のスキルアップの向上に努めた。

今後についても、参加者からの率直な感想も踏まえ、次年度へ向けて更に改善を図っていく。